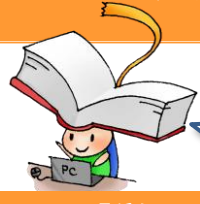


文学的な文章を読むことで読書活動を広げ、深める工夫



国語科の「読むこと」の学習において、公立図書館との連携やICTを活かして、子供たちの主体的な学びを進めてみませんか？例えば、授業で学んだことを生かして、並行読書を行ったり、動画を撮る言語活動を設定したりすることで「読書活動」を広げ、深めることができます。

【単元名】朗読して本の紹介動画をつくろう～わたしのお気に入りの1冊～

評価規準	知識・技能	文章を音読したり朗読したりしている。(1)ケ
	思考・判断・表現	「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C.E
	主体的に学習に取り組む態度	作品に描かれている登場人物の心情を進んで読み取りながら、学習の見通しをもって、関連する他の作品や叙述がもつ良さを朗読で伝えようとしている。

課題の設定

町立図書館からの「町内小学生向けに朗読を含めた本の紹介動画をつくってほしい」という依頼を成功させよう!

課題を捉える 朗読する相手や目的を確認する。

◆公立図書館職員の方の読み聞かせを聞く

朗読のための「読み取りの視点」を実感から考え、捉えさせます。

作品世界にひきこむ「朗読」をするには、どうしたらいいんだろう?

◆教室に「〇〇の作品コーナー」を作る

児童は随時、関連の作品を手にとって、情報を集めることができます。

高学年向けだけでなく、中学年や低学年向けの本もいるんじゃないかな

自分たちで本を並べると手に取りやすいね!

主対深

情報の収集整理・分析

読み取ったことを朗読に生かす その1 教科書教材を活用して

①情景を思い浮かべながら音読 ②作者の生い立ちや作品の背景 ③感想を書いて交流 ④「読み取りの視点」を基に感想を読み直し ⑤「読み取りの視点」でお気に入りの場面を捉えて朗読

◆作者の生い立ちや作品の背景を調べる **対策**

- ・〇〇の作品コーナーの本、図書室の本
- ・インターネットで調べた情報

家で調べることもできるね。インターネットで調べたときも、引用元は記録しておこう!

◆オンライン会議システム等に付属のツールを利用して交流する **対策**

- ・ホワイトボード機能 等
- ◆1枚のワークシートに各自が付せんを貼って回覧し、交流する

各自が調べたことをグループで交流し、その結果を保存して次の活動に生かすことができます。教師側が個別に指導助言を行うこともできます。

並行読書

まとめ・表現

読み取ったことを朗読に生かす その2 自分のお気に入りの作品で

①自分のお気に入りの作品から朗読する場面を選択 ②「読み取りの視点」で朗読する場面を捉えて朗読練習 ③「読み取りの視点」が朗読に表れているか意見交流 ④交流結果を生かして朗読練習 ⑤朗読を含む本の紹介動画のリハーサルをしてアドバイスをもらう ⑥相手と目的を意識して動画を撮る

リハーサルは、お家の人に聞いてもらう方法もあるし、オンライン会議システム等でグループや先生に聞いてもらう方法もあるね!アドバイスはしっかり記録しておこう。

◆オンライン会議システム等で朗読を聞き合い、付属ツールを利用して交流する **対策**

- ・ホワイトボード機能、フォーム機能 等

朗読を行った児童が何を意識したか、フォーム機能等で確認したり、録画して教師が個別に指導助言を行ったり、評価に生かしたりすることができます。

動画を見合い、読書を広げる

- ・朗読を含む本の紹介動画を見合い、感想を交流する→「読み取りの視点」で読み取った内容を表現に生かすとはどうすることが確認する
- 友達の動画を見て、興味をもった作品を読む

振り返り 「読み取りの視点」で読み取ることを日常のどんな場面で生かすことができるか想起させる。